

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2021 年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 新型コロナウイルスの感染拡大防止について

- (1) 来場者事前申請されている者で1週間前(5月7日~9日)から体調管理チェックを行い、受付時に体調管理チェックシートを提示し、IDカードを付与された者のみが入場できる。
- (2) 日毎の受付時に「大阪コロナ追跡システム」に登録すること(P13参照)。
- (3) 入場時、非接触での検温を実施する。当日検温で37.5℃以上の場合、参加を認めない場合がある。
- (4) 来場にあたっては、マスク・タオルを持参し、運動時を除いては原則としてマスクを着用すること。
- (5) 石けん等を用いた手洗い・手指消毒、洗顔を行うこと。
- (6) 待機所、ウォーミングアップ・招集等については競技役員の指示に従い、身体的距離(ソーシャルディスタンス)を確保すること。
- (7) 競技用具使用後は手洗いまたは手指消毒を行うこと。
- (8) 飛沫拡散を防ぐ為、集団での応援や大声・近距離での会話を避けること。
LAP等を読む者はマスクとフェイスシールドを着用すること。
- (9) ゴミは各自で持ち帰ること。
- (10) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者(関西実業団陸上競技連盟)に報告すること。

3. 練習について

- (1) 練習は危険防止に十分注意し、競技役員、大会運営役員の指示に従うこと。
- (2) ヤンマーフィールド長居【サブ】は、投てき種目(公式練習含む)が始まると練習場所を制限する。
詳細は下記の表を参照。

■練習会場の使用時間・日程

| 会場名 | 競技種目 | 5月14日(金) | 5月15日(土) | 5月16日(日) |
|--------------------|--------------------|----------------------|-------------------------|--------------------|
| ヤンマースタジアム 【メイン】 | トラック | 14:30~16:00 ※1 ※2 | (小学生のみ) ※2 | 7:30~9:30 ※2 ※3 |
| | バックスタンド下 室内練習場 | 選手待機場所 | 雨天時に開放 12:00 までは使用不可 | 雨天時に開放 |
| ヤンマーフィールド 【サブ】 | トラック | — | 9:30~16:00 ※4 | 7:30~16:10 ※5 |
| | バックスタンド裏側 練習直走路 | — | 9:30~15:30 ※6 | 11:20~13:00 ※6 |

- ※1 16:00以降はトラック9レーン外側、マラソングート(第1曲走路中央)からバックストレート、第4コーナー付近の間での練習を可とする。(競技役員指示に従うこと)
- ※2 一日の競技終了後の30分はトラック内での練習を認める。
- ※3 男子100m予選出場選手のみ使用可とする。
- ※4 トラック内のバックストレート、第2曲走路は使用禁止(競技役員指示に従うこと)
400mHは第1曲走路で女子7レーン、男子8,9レーンを使用すること。
- ※5 第2曲走路は使用禁止(競技役員指示に従うこと)
男子100m予選のW-UPはヤンマースタジアム【メイン】を利用すること。
110mHはホームストレート8,9レーン、100mHは7レーンを使用すること。
- ※6 スプリント走は北側から南側への一方通行とする。

- (3) 跳躍種目、投てき種目の練習は、招集完了後、競技役員指示に従って行うこと。

4. 競技場の開閉門について

| | 5月14日(金) | 5月15日(土) | 5月16日(日) |
|-----|-------------|----------|----------|
| 開 門 | 14時30分 | 9時30分 | 7時30分 |
| 閉 門 | 20時00分 | 17時30分 | 18時00分 |
| 備 考 | ・スタンドは開放しない | — | — |

- ※ヤンマースタジアム1階中央エントランスホールにて、チーム・選手受付(アスリートビブス、プログラム配布)および来場した全選手・スタッフの検温を行う。
体調管理チェックシートの提出およびID配布方法については別途案内する。
受付開始時刻は上記開門時間とし、終了時刻は各日最終トラック種目スタートの30分前とする。

5. 招集について

(1) 招集所は、ヤンマースタジアム【メイン】第1曲走路外側、マラソンゲート付近に設ける。

競技場内を通過してではなく、競技場の外からマラソンゲートに移動すること。

ただし、下記の種目については競技場内から招集所へ移動すること。

- ・5月14日（金）に実施される全ての種目
- ・5月15日（土）の小学生の種目全て（小学生の招集所はエントランスホール下の受付場所とする）
- ・5月16日（日）の男子100m予選のみ

(2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

| 【トラック】 | 【フィールド】…右記種目除く | ※棒高跳 | ※砲丸投（男女） |
|-----------|----------------|--------------------------------|-------------|
| 開始時刻 25分前 | 開始時刻 50分前 | 女：11:30～11:40 男：13:50～14:00 | 13:50～14:00 |
| 完了時刻 15分前 | 完了時刻 40分前 | | |

※小中学生の種目（第1日目除く）については開始時刻を30分前、完了時刻を20分前とする。

※決勝ラウンドに進出した選手で欠場する者は必ず、招集所に競技開始1時間前までに欠場届を提出すること。

(3) 招集の手順

- ① 招集開始時刻に招集所で競技者系の点呼を受ける。
- ② その際、アスリートビブス、スパイクおよび競技場内で着用するウェアやバッグ類の商標点検を受ける。同時にトラック種目出場者は「腰ナンバーカード（シール式）」を受け取り、右腰に付けること。5000m, 10000m, 5000mWは「選手・チーム受付」で配布された別ナンバーカードを付けること。
- ③ 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目同時に兼ねて出場する競技者は、事前に本人が競技者係に申し出ること。
- ④ 招集完了時刻に遅れたものは、欠場したものとして扱う。

(4) リレー種目について

- ① リレーオーダー用紙は、招集完了時刻1時間前までに、招集所にて提出すること。（リレーオーダー用紙はプログラム巻末の用紙を使用すること）
- ② 点呼は4人全員で受けること。（女子4×400mRは代理人1名のみでの点呼を可とする）
- ③ リレーの出場者は同一デザインのユニフォームを着用すること。（TR5.1（国内）の規定を適用する）ただし、形状は問わない。着用例：1走→ランニングシャツ／ランニングパンツ、2走→セパレート、3走→ランニングシャツ／タイツ
- ④ リレーマーカーは出場チームで用意し、使用したマークは、使用后各チームの前走者が必ず取り除くこと。

(5) 欠場する場合は、欠場届を招集開始前に競技者係に提出すること。なお、欠場届は、プログラム巻末の用紙を使用すること。

(6) 招集所からスタート地点・跳躍場・投てき場への移動は競技役員（マーシャル）の指示に従い、各自、スタンド下通路（ダッグアウト）を通り移動すること。ただし、ホームストレートのダッグアウトは通行しないこと。

6. 競技進行について

(1) 競技について

- ① 予選におけるトラック種目のレーン順、フィールド種目の試技順は、プログラム記載の番号順とする。
- ② トラック種目の関西連盟以外の登録出場選手については予選がある場合は決勝には進めない。
- ③ フィールド種目（走高跳、棒高跳除く）の関西連盟以外の登録出場選手については6回までの試技を認める。
- ④ トラック種目、フィールド種目にまたがって同時間帯に出場する場合は、フィールド競技役員にその旨を申し出て、トラック種目を優先して出場することを原則とする。
- ⑤ 準決勝、決勝の組合せ及びレーンは主催者が抽選し、記録掲示板（エントランスホール階段降りて左側通路）にて発表する。
- ⑥ トラック競技における次のラウンド進出者のプラスの決定について、その最下位において100分の1秒単位で同記録があった場合、1000分の1秒で着差判定をして進出者を決める。着差がない場合でレーン数に余裕があれば同記録の者は次のラウンドへ進出できる。レーン数の不足する時は抽選する。
- ⑦ 5000mWの競技者は、32分を過ぎて新たな周回に入ることはいできない。

- ⑧ スパイクのピンは、9mm以下のものを使用する。ただし、走高跳・やり投については、12mm以下とする。本数は11本以内とする。
シューズの靴底の厚さはWA規則第143条TR5：シューズに関するルール再改定部分を適用する。
フィールド競技については、TR5.5の適用除外はしない為、シューズ底の計測を行う。
- ⑨ アスリートビブスは配布された大きさのまま、ユニフォームの胸部と背部に付けること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでよい。
(招待小学生リレーは、主催者が1枚配布するナンバーカードを胸部につけること)
- ⑩ 投てき種目、棒高跳の滑り止めについては各自、用意すること。
- ⑪ トラック種目、跳躍種目終了後は、エントランス出口もしくはマラソンゲートを通して退場すること。

(2) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方について
跳躍競技

| | | | | | |
|-----|---|---|---------|--------------------|---------------|
| 走高跳 | 男 | 決 | 練習 1m80 | 1m85-90-95-2m00-05 | 以降 3cm ずつ上げる |
| | 女 | 決 | 練習 1m55 | 1m60-65-70-75 | 以降 3cm ずつ上げる |
| 棒高跳 | 男 | 決 | 練習 4m00 | 4m10-20-30-40 | 以降 10cm ずつ上げる |
| | 女 | 決 | 練習 3m00 | 3m10-20-30-40 | 以降 10cm ずつ上げる |

※ 同記録による1位決定のバーの上げ方は、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

7. 競技用具について

- ① やりは、個人所有の使用を認める。
- ② やりは、競技開始60分前までにヤンマースタジアム【メイン】正面スタンド南側用器具庫（フィニッシュ地点側）にて提出し検査を受けること。

8. 抗議について

抗議は、日本陸上競技連盟競技規則により、総括総務員へ申し出るものとする。

9. 表彰について

- ① 各種目の優勝者を表彰する。
- ② 1位から3位までの入賞者は成績発表後直ちに、表彰場所（ヤンマースタジアム【メイン】、エントランスホール下）に集合し、2位と3位の選手については賞状と副賞を競技役員（表彰係）より受け取ること。
- ③ 関西連盟以外の登録者については表彰の対象外とする。
- ④ 強化委員会にて、最優秀選手、敢闘選手、新人賞を選考し賞を与える。
- ⑤ 最優秀選手には毎日新聞社杯を授与する。

10. その他

- (1) 部旗、横断幕などの使用は、メインスタンド中段より上部、およびサイド・バックの各スタンド上部通路より上に張ること。ただし、競技運営などに支障のある場合は、撤去又は移設を指示する場合がある。
- (2) 大会1日目はヤンマースタジアム【メイン】のバックスタンド下室内走路を待機場所とする。
大会2日目以降はヤンマースタジアム【メイン】およびヤンマーフィールド【サブ】2階コンコースを選手、チームスタッフ、付添者の待機場所とする。大会2日目の競技終了後、コンコースにおけるシート等の残置を認めるが、車両が通行するため折り畳んだ状態にしておくこと。紛失、盗難に関して主催者は一切責任を負わない。
ただし、部旗、横断幕等については、毎日撤去して持ち帰ること。
- (3) 記録は、掲示しない。ホームページにて公開する。
- (4) 更衣について
 - ・貴重品は各自で責任を持って管理すること。
 - ・入室時に「更衣室入退管理表」に名前、所属、入室時刻を記入すること。
退場時には退場時間を記入すること。
 - ・各部屋8名～10名の利用制限を守ること。
 - ・8名～10名が入っているか「更衣室入退管理表」を確認の上、入室すること。
 - ・シャワーの利用を認める。
 - ・更衣室の利用時間は入室してから15分以内とする。
 - ・更衣および競技後のシャワー以外の利用は認めない。（待機場所としての利用は不可）
 - ・時間帯によっては小中学生の更衣として専有する。

・更衣室はヤンマースタジアム【メイン】に男女各4室（10名まで1室、8名まで3室）を設ける。

ヤンマーフィールド【サブ】は男女各1室（10名まで）を設ける。

(5) 競技中に発生した傷害・疾病については、本部の医務室で応急処置のみ行う。

(6) スタンドでの応援エリアは、黄色のテープで制限した範囲内とする。

スタンドの着席位置は前後左右に2席以上を空けて座ること。

大会1日目はスタンドを開放しない。

大会1日目のみ、グラウンド内のマラソングートからバックストレート、第4コーナー付近までのトラック9レーン外での観覧を認める。競技役員、大会役員の指示に従うこと。

ハイヒールなどグラウンドを傷つける可能性がある履物は禁ずる。

ラップタイムを読むチームスタッフについてはマスクの着用、かつフェイスシールドを着用すること。

(7) 第1曲走路内側（フィニッシュ地点）と第2曲走路内側（200mスタート地点）に通過記録等を選手に伝える大会役員（関西連盟強化委員からの選出者2名）を下記の種目に限り設ける。

・大会1日目（金）：男子10000m（1組、2組）、女子10000m

・大会2日目（土）：男子5000m（1組～4組）、男子3000mSC

・大会3日目（日）：女子5000m（1組、2組）

(8) 携帯電話等の情報機器の競技場所への持ち込みは禁止する。